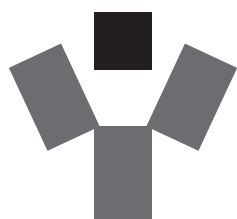


Graduate School, Yamagata Prefectural University of Health Sciences

平成26年度
学生募集要項
(二次募集)
【保健医療学専攻】



Yamagata Prefectural
University of
Health Sciences

公立大学法人

山形県立保健医療大学 大学院

大学院アドミッション・ポリシー

山形県立保健医療大学大学院（修士課程）

本研究科は、以下に示すような向学心のある人を求めています。

1. 保健・医療・福祉の分野で社会に貢献しようとする意欲のある人
2. 高い基礎学力と専門分野の基礎知識を持ち、科学的な根拠に基づいた保健・医療・福祉に貢献しようとする意欲のある人
3. 保健・医療・福祉の発展について、既成概念にとらわれずに創造的に考え、実践しようとする意欲のある人
4. 国際的視野を持ち、協調性に富む人
5. 就業のまま就学を希望する人については、仕事とのバランスを保って学業の課題を遂行できる人

I 募集人員

専攻名	分野	募集人員
保健医療学専攻	看護学分野	若干名 (社会人特別選抜を含む)
	理学療法学分野	
	作業療法学分野	

II 出願資格・選抜区分等

1 一般選抜

出願できる者は、次の各号のいずれかに該当するものとします。なお、(1)から(7)までについては、平成26年3月末までにこれに該当することとなる者も含まれます。

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 日本国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定（昭和28年2月文部省告示第5号）した者
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学したものであって、当該者をその後に入学者とする大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの（短期大学及び高等専門学校の卒業者、専修学校専門課程の修了者等で、本学大学院において審査の結果、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められたもの）
- (10) 学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者又はこれに準ずる者として学校教育法施行規則第160条に規定する者であって、別に定める単位を優秀な成績で修得したと認められるもの（P3入学資格審査基準参照）

(注)出願資格(8)～(10)により出願を希望する者は、出願前に出願資格審査を受けてください（「V 出願資格審査」を参照のこと）。

2 社会人特別選抜

「社会人特別選抜」に出願できる者は、一般選抜の出願資格の条件を満たし、かつ、次の基準を満たすものとします。

- (1) 看護学分野においては看護師、保健師又は助産師の免許を有すること。
理学療法学分野においては理学療法士、作業療法学分野においては作業療法士の免許を有すること。
- (2) 入学時において、国家資格者として3年以上*の実務経験を有していること。
※ ① 国家試験受験後の合格見込みによる採用期間等は実務経験の期間に含む。
② 連続した期間でなくとも、通算で3年以上働いていれば可とする。
③ 判断が困難な場合は個別に検討する。

3 選抜区分

各分野にわたり、「一般選抜」と「社会人特別選抜」を行います。ただし、出願できるのはいずれか一方であり、出願後に選抜区分を変更することはできません。

4 専攻分野・領域

出願に際しては、志望する分野の領域を選ぶ必要がありますが、分野により次のとおり扱いが異なりますので、ご注意ください。

- (1) 看護学分野においては、**領域を第3志望まで**選択することができます。
- (2) 理学療法学分野、作業療法学分野においては、**領域を第2志望まで**選択することができます。

Ⅲ 事前相談

出願を希望する者は、出願前に、指導を受けようとする教員と電話、E-mail等で連絡を取り、入学後の研究、長期履修制度利用等について相談を行ってください。

教員の連絡先等については、「X I 教育研究分野・領域の担当教員及び問合せ先」を参照してください。なお、分野・領域の選択などをはじめとして、不明な点やお聞きになりたい点がある場合は、本学教務学生課へご連絡ください。

Ⅳ 大学院設置基準に基づく授業時間などの特別措置

社会人が働きながら学べるよう、大学院設置基準第14条により、必要に応じ夜間や土曜・日曜に講義を行う途を設けています。

なお、この措置の適用を希望する者は、「Ⅲ 事前相談」の際に申し出てください。

V 出願資格審査

一般選抜出願資格(8)(9)(10)(社会人特別選抜で一般選抜出願資格(8)(9)(10)に該当する者を含む。)で出願を希望する者は、あらかじめ、出願資格の審査を行いますので、所定の封筒に入れ、**郵送(簡易書留)又は持参**により、提出してください。

1 申請期間

平成25年12月6日(金)から平成25年12月12日(木)まで(必着)

- ・ 郵送する場合 12月12日(木)必着。
- ・ 持参する場合 受付時間は9時から17時まで。
ただし、土曜日、日曜日は受け付けません。

2 提出書類

次の書類を本学教務学生課まで提出してください(提出書類は返還しません)。

- (1) 出願資格審査申請書(本学所定)
- (2) 成績証明書(Ⅶ 出願書類の「成績証明書」の摘要欄を参照のこと)
- (3) 審査結果通知郵送料(380円分の郵便切手)

3 審査結果の通知

出願資格の審査結果は、平成25年12月19日(木)に本人あてに郵送で通知します。

なお、認定された者は、所定の期間内に出願手続をしてください。

VI 出願手続等

志願者は、所定の出願書類、封筒を用い**郵送（簡易書留）又は持参**により出願してください。

1 出願期間

平成26年1月17日(金)から平成26年1月23日(木)まで（必着）

- ・ 郵送する場合 1月23日(木)必着。
- ・ 持参する場合 受付時間は9時から17時まで。
ただし、土曜日、日曜日は受け付けません。

2 出願上の注意事項

- ・ 出願書類に不備がある場合は受理できませんので、十分確認の上提出してください。
- ・ 出願書類の記入にあたっては、黒色ボールペン又は黒色インクを使用し、正しく記入してください。
- ・ 出願手続後の書類の内容変更はできません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、本学教務学生課まで連絡してください。
- ・ 出願手続後の入学考査料の払い戻し、提出書類の返還はいたしません。
ただし、入学考査料を納入後に出願手続をしなかった場合は返還しますので、本学教務学生課（TEL 023-686-6688）まで連絡してください。
- ・ 受験票は、出願受理後に本人あてに送付します。試験日5日前までに受験票が届かない場合は、本学教務学生課まで連絡してください。

3 身体に障がいのある入学志願者の事前相談について

身体に障がいのある志願者で、受験上特別な配慮を希望する者は、**出願の前に**本学教務学生課へ相談してください。

入学資格審査基準

区 分	対 象 者	審 査 基 準
学校教育法第83条の大学に3年以上在学し、本学大学院において、別に定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの	4年制大学3年次在学者又は過年度に4年制大学3年次を修了している者	〔3年次在学者〕 次のいずれにも該当すること。 ① 大学2年次修了時点で、卒業必要単位数の1/2以上を修得し、その評価について最上位（100点満点換算で80点以上）であるものが8割以上であること。 ② 大学3年次修了時点で、卒業必要単位数の3/4以上を修得見込であること。
		〔過年度に3年次を修了している者〕 大学3年次修了時点で、卒業必要単位数の3/4以上を修得し、その評価について最上位（100点満点換算で80点以上）であるものが8割以上であること。
外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は日本国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本学大学院において、別に定める単位を優秀な成績で修得したと認める者	外国の学校教育制度に基づく高等教育機関（大学等）の在学者（通信教育による課程の履修者を含む。）で、当該国における学校教育の16年課程のうち15年の課程を修了した者	〔15年の課程修了者〕 15年の課程修了時点で、16年の課程修了に必要な単位数の3/4以上を修得し、その評価について最上位（100点満点換算で80点以上）であるものが8割以上であること。
		〔15年の課程修了見込者〕 次のいずれにも該当すること。 ① 14年の課程修了時点で、16年の課程修了に必要な単位数の1/2以上を修得し、その評価について最上位（100点満点換算で80点以上）であるものが8割以上であること。 ② 15年の課程修了時点で、16年の課程修了に必要な単位数の3/4以上を修得見込であること。

VII 出願書類

出願書類	選抜区分		摘 要
	一 般	社 会 人	
入 学 志 願 書	◎	◎	必要事項を漏れなく記入してください。
受 験 票 ・ 写 真 票	◎	◎	必要事項を漏れなく記入してください。 縦5 cm×横4 cmの写真（正面上半身無帽、背景なし、出願前3ヶ月以内に撮影したもの）の裏面に氏名を記入し、それぞれの写真貼付欄にはがれないよう、全面のり付けしてください。
卒業・修了（見込） 証明書	◎	◎	出身大学の長又は出願資格に該当する出身学校長が作成したものを提出してください。
学士の学位授与 （見込）証明書等	○	○	出願資格（2）で出願する者が提出してください。 学位授与機構が発行する学士の学位授与（見込）証明書若しくは短期大学長又は高等専門学校長の発行する学位授与申請（予定）証明書を提出してください。
成 績 証 明 書 ※	◎	◎	出身大学の長又は出願資格に該当する出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 なお、成績証明書の成績欄に編入学等により認定されている科目がある場合には、編入学前の学校の成績証明書も併せて提出してください。 <u>※出願資格審査で提出した場合は不要です。</u>
研究（希望）計画書 ※	◎	◎	必要事項を漏れなく記入してください。 <u>※看護学分野用と理学療法学分野・作業療法学分野用がありますので注意してください。</u>
研 究 業 績 等 調 書	○	◎	一般選抜出願資格（8）（9）（10）及び社会人特別選抜出願資格で出願しようとする者は提出してください。
社会活動等実績調書		◎	社会人特別選抜出願資格で出願しようとする者は提出してください。
入学考査料 ・納入証明書	◎	◎	入学考査料（30,000円） を、募集要項に同封されている「振込依頼書」により、裏面の注意事項に留意のうえ金融機関で納入し、金融機関の領収印のある「入学考査料納入証明書」を入学志願書裏面の所定欄に貼り付けてください。
外国人登録済証明書	○	○	日本国籍を有しない者は、市区町村の発行する外国人登録済証明書（在留資格が明示されているもの）を提出してください。
あ て 名 シ ー ル	◎	◎	合格通知等の通信用に用いますので、郵便番号、住所、氏名を記入してください。

出願書類	選抜区分		摘 要
	一 般	社 会 人	
受験票返送用封筒	◎	◎	「受験票」送付用として使用します。本学所定の封筒に郵便番号、住所、氏名を明記し、380円分の切手を貼付してください。
<p>◎印は必須、○印は該当者のみ提出する書類です。 外国語で作成された書類には、必ず日本語訳を添付してください。(困難な場合はご相談ください) 郵便料金の改定が行われた場合は、新料金の切手を貼付してください。 日本国籍を有しない者は、入学に際しては、別途提出いただく書類があります。 婚姻等により、卒業証明書等と姓が異なる場合は、戸籍抄本を同封してください。</p>			

◎ 個人情報の取り扱いについて

本学の入学者選抜試験実施に伴い提出された氏名、生年月日、住所その他の個人情報は、入学者選抜、入学手続き、奨学金業務、統計・分析、入学後教育指導上の目的のため利用し、これらの目的以外には利用しません。

本学に出願される方は、上記内容に同意したうえで出願してください。

VIII 選抜方法・試験日時等

1 選抜方法等

入学者の選抜は、選抜試験（英語、専門科目、面接）の結果及び出願書類を総合して判定します。

なお、選抜試験における各科目の配点は下記のとおりです。

【一般選抜】	英語 100点	専門科目 200点	面接 100点
【社会人特別選抜】	英語 50点	専門科目 200点	面接 150点

2 選抜試験日時（一般選抜・社会人特別選抜共通）

[試験場開扉 8:30 受付・入室 8:45～9:20 筆記試験オリエンテーション 9:20～9:30 面接オリエンテーション 13:20～13:30]

年 月 日	試験区分	時 間	試験会場
平成26年2月8日(土)	英 語	9:30～10:30	公立大学法人 山形県立保健医療大学 ※詳細については、 「大学（試験会場）案内」（P16）を 参照してください。
	専門科目	11:00～12:30	
	面 接	13:30～	

注) ① 英語については、英和辞書1冊のみ持込み可とします。ただし、電子辞書の持込みは不可です。

② 専門科目については、志望した分野の問題を解答していただきます。

③ 面接については、個人面接とします。

3 受験上の注意事項

- ・ 受験者は、9時20分までに指定された試験室に入室し、着席してください。
- ・ 英語、専門科目試験開始後は、20分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- ・ 英語、専門科目及び面接試験のいずれか一つでも受けなかったものは、受験を放棄したものとして取り扱います。
なお、面接は受験者ごとに開始時間が異なりますので、指示に従ってください。
- ・ 受験票は常に携帯し、係員の請求があった場合は提示してください。
- ・ 当日に本学の受験票を忘れた者は、速やかに試験実施本部で仮受験票等の交付を受けてください。
- ・ 試験時間中に使用を許可するものは、鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。）、時計（辞書や電卓等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの。）、目薬、英和辞書1冊（英語の試験のみ（電子辞書の持ち込みは不可））に限ります。
- ・ 携帯電話、スマートフォン等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとは不正行為になることがあります。
- ・ 試験時間中における受験者間の物品の貸し借りは一切認めません。
- ・ 昼食は各自で準備してください。昼食場所は、試験会場を利用できます。
- ・ 事前に試験会場の下見をする場合は、2月7日（金）に試験会場入口に掲示してある配置図により、各自が受験する試験室及び試験実施本部を確かめておいてください。
ただし、試験室には入室できません。
下見時間：2月7日（金） 13時～17時
- ・ 試験会場及び試験室へは、外履のまま入れます。
- ・ 試験会場及びその周辺で合格電報、レタックス等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係なく、トラブル等が生じて責任を負いかねますので注意してください。

IX 合格発表

1 発表日時

平成26年2月13日（木） 10時

2 発表方法

合格者の発表は受験番号のみとし、本学南側出入口前の掲示板に掲示するとともに、合格者に合格通知書及び入学手続書類を送付します。

また、インターネット本学ホームページにも参考情報として合格者の受験番号を掲載します。

区 分	ア ド レ ス
パ ソ コ ン	http://www.yachts.ac.jp/
※ 携 帯 電 話	http://www.yachts.ac.jp/i/

※携帯電話はiモードの他、EZweb、Yahoo!ケータイでも閲覧できます。

なお、電話等による合否結果の問い合わせには応じません。

3 追加合格

入学手続終了後、欠員が生じた場合等には、追加合格により補充する場合があります。

追加合格がある場合には、2月24日（月）以降、入学志願書に記載された合格通知受信場所等に電話により連絡します。

追加合格者の入学手続については、追加合格の通知の際に指示しますので、それに従ってください。

なお、受験者等からの追加合格に関する問い合わせには応じません。

X 入学手続等

合格者は、**郵送（簡易書留）又は持参**により所定の入学手続を行ってください。
なお、期間内に入学手続を完了しなかった場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。
また、入学手続後は、いかなる理由があっても提出書類及び入学料は返還しません。

1 手続期間

平成26年2月17日(月)から2月21日(金)まで(必着)

- ・郵送する場合 2月21日(金)必着。
- ・持参する場合 受付時間は9時から17時まで。

2 手続書類等

- (1) 入学手続の詳細及び必要な書類は、合格通知書発送時に直接本人あてに郵送します。
- (2) 入学料は、入学手続書類に同封されている「振込依頼書」により、裏面の注意事項に留意のうえ**所定の金額**を金融機関で納入してください。

・**県内者 282,000円**

[本人又は本人の一親等の尊属が、本人の入学の日の1年前から
引き続き山形県内の区域内に住所を有する者。]

・**県外者 564,000円**

[上記以外の者。]

注 上記の金額は平成25年度入学者を対象にした金額です。
金額については、変更になる場合があります。

3 手続場所

公立大学法人山形県立保健医療大学 教務学生課
〒990-2212 山形県山形市上柳260番地
TEL 023-686-6688

4 留意事項

選抜試験に合格し、入学手続を行った場合でも、次に該当する場合には入学許可を取り消します。

- (1) 大学を卒業見込で出願した者が大学を卒業できない場合又は学位取得見込で出願した者が平成26年3月末までに学位を取得できなかった場合。
- (2) 出願書類又は出願資格審査に提出した書類に記載した事項が、事実と相違することが判明した場合。

5 試験結果の開示

- (1) この試験の結果については、公立大学法人山形県立保健医療大学個人情報保護規程により、口頭で開示を請求することができます。

開示を希望する場合は、受験者本人が、受験票もしくは本人であることを証明する書類（運転免許証、学生証等）を持参のうえ、9時から17時までの間に、下表の開示場所に直接おいでください。(ただし、土曜日、日曜日は受付いたしません。)

なお、電話、はがき等による開示の請求はできません。

開示請求できる人	開示内容	開示期間	開示場所
受験者本人	合計得点及び順位	合格発表の日から1ヶ月間	公立大学法人山形県立保健医療大学 教務学生課

- (2) 試験結果の開示についての詳細は、公立大学法人山形県立保健医療大学教務学生課に直接お問い合わせください。(TEL 023-686-6688)

6 その他

入学時に職業を有する方（見込みを含む）は、入学時に就業先からの「**就学承認書**」の提出が必要になります。

X I 教育研究分野・領域の担当教員及び問合せ先

【看護学分野】

領 域	担当教員	問合せ先 TEL、E-mail
基礎・病態看護学領域	前 田 邦 彦 教 授	023-686-6628 kumaeda@yachts.ac.jp
	豊 嶋 三 枝 子 教 授	023-686-6616 mtoyoshima@yachts.ac.jp
母 子 看 護 学 領 域	遠 藤 恵 子 教 授	023-686-6642 kendo@yachts.ac.jp
成人・高齢者看護学領域	小 澤 芳 子 教 授	023-686-6618 yozawa@yachts.ac.jp
	遠 藤 和 子 教 授	023-686-6644 kaendo@yachts.ac.jp
地 域 看 護 学 領 域	菅 原 京 子 教 授	023-686-6615 ksugawara@yachts.ac.jp

【理学療法学分野】

領 域	担当教員	問合せ先 TEL、E-mail
基礎理学療法学領域	真 壁 寿 教 授	023-686-6651 hmakabe@yachts.ac.jp
	内 田 勝 雄 教 授	023-686-6637 kuchida@yachts.ac.jp
臨床理学療法学領域	伊 橋 光 二 教 授	023-686-6658 ihashi@yachts.ac.jp
	神 先 秀 人 教 授	023-686-6659 hkanzaki@yachts.ac.jp
	清 重 佳 郎 教 授	023-686-6648 ykiyosige@yachts.ac.jp

【作業療法学分野】

領 域	担当教員	問合せ先 TEL、E-mail
臨床作業療法学領域	藤 井 浩 美 教 授	023-686-6649 hfujii@yachts.ac.jp
	平 山 和 美 教 授	023-686-6622 khirayama@yachts.ac.jp
	佐 藤 寿 晃 教 授	023-686-6660 tsato@yachts.ac.jp
	八 卷 通 安 教 授	023-686-6656 myamaki@yachts.ac.jp
発達作業療法学領域	佐 竹 真 次 教 授	023-686-6661 ssatake@yachts.ac.jp

なお、担当教員（問合せ先）に連絡がとれないときは、教務学生課（TEL 023-686-6688）にお問い合わせください。

XII その他

1 経費概要

- (1) 授業料 年額535,800円（前期、後期の2回に分けて半額ずつ納入）
なお、上記の金額は平成25年度入学者を対象とした金額です。
金額については、変更になる場合があります。
- (2) テキスト代等
テキスト代の他、調査・研究等に伴う諸経費が必要となります。
- (3) 傷害保険料等経費 金額（2年分一括） 3,100円
学生傷害保険（※1）及び賠償責任保険（※2）に加入する場合の保険料です。
※1 実習先を含めた学校管理下（学内、登下校中、サークル活動中等）における不慮の災害、事故等により身体に傷害を被った場合の補償です。
※2 授業中、大学行事及びその往復途中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る損害賠償を補償するものです。

2 奨学制度

- (1) 日本学生支援機構奨学金
成績が優秀で、経済的理由により修学困難な者に対し、選考により学資が貸与されます。
 - 第一種奨学金（無利子）
月額貸与額を50,000円、88,000円の中から選択します。
 - 第二種奨学金（有利子）
月額貸与額を50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円の中から選択します。
- (2) その他の奨学金
地方公共団体等の奨学金制度がありますので、各自ご確認ください。

3 授業料等免除制度

- (1) 入学料
学費を負担している者が入学前1年以内において甚大な災害、死亡等により入学料の納付が困難であると認められた者に対し、入学料を免除する制度があります。
- (2) 授業料
学業、人物ともに優秀な者で、経済的理由により授業料の納付が困難であると認められた者に対し、授業料を免除する制度があります。

公立大学法人山形県立保健医療大学大学院保健医療学研究科(修士課程)の概要

1 目的

本研究科は、より高度な知識と技能を持った高度専門職業人の育成や、次代を担う人材の継続的な育成を行う教育者の養成及び諸課題の対策等について研究開発を行う研究者の養成を図り、地域における保健・医療・福祉の向上に貢献することを目指します。

2 学生定員

保健医療学専攻 入学定員 12人 収容定員 24人

3 標準修業年限

2年（※ 在学年限は、4年を超えることができません。）

4 長期履修制度

職業を有していたり、介護・育児に従事している等の事情により標準修業年限（2年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度です。

5 学位

保健医療学専攻 修士（看護学）、修士（理学療法学）、修士（作業療法学）

6 教育課程

(1) 教育課程の考え方

本研究科は、保健医療学部の教育を基礎とし、以下の方針で編成しています。

- ① 科学的思考に基づく高度な専門的知識と技術を有する人材を育成するために、保健医療学の最新の知見を教授します。
- ② 最先端の知識のみならず、国際性のある視野の広い実践者、教育者及び研究者を育成するために、先進国の優れた教育、研究の成果を積極的に導入します。
- ③ 既成概念にとらわれない創造性豊かな発想や、専門職の発展に向けて自律的に行動できる能力を持った職業人を育成できるような教育研究を行います。
- ④ さまざまな教育の背景を持つ学生の履修に資するため、また、地域の保健医療においてチーム医療の指導的役割を担える幅広い視野にたった人材を育成するために、授業科目の構成・内容について配慮した教育課程を編成します。

(2) 授業時間（平日）

時 限	時 間
第1時限	8：50 ～ 10：20
第2時限	10：30 ～ 12：00
第3時限	13：00 ～ 14：30
第4時限	14：40 ～ 16：10
第5時限	16：20 ～ 17：50
第6時限	18：00 ～ 19：30
第7時限	19：40 ～ 21：10

大学院設置基準第14条による特例として、平日の夜間（第6時限、第7時限）開講の他、必要に応じ土曜・日曜における授業及び夏季・冬季休業期間の集中講義を設けています。

(3) 教育課程の特色

本研究科の教育課程は、研究指導に結びつく専門科目の他に、看護学、理学療法学及び作業療法学分野に共通して必要と考えられる共通科目と各分野の視野を広めるための専門支持科目を設定し、科目相互の結びつきを高める構成としています。

① 共通科目

共通科目では、研究活動の基礎となる研究法と保健医療の基盤的知識等を学びます。

② 専門支持科目

専門支持科目では、各分野の専門科目を学んでいく上での基礎となるとともに、学生の教育・研究の深化を可能とし幅広い視野を養うための特論を学びます。

③ 専門科目

専門科目は、看護学分野（5領域）、理学療法学分野（2領域）、作業療法学分野（2領域）の3分野（9領域）で構成し、分野ごとに特別研究を設定しています。

(4) 履修指導及び研究指導

本研究科は、学生の希望を最優先して研究領域を決定します。各研究領域においては、指導教員が、学生の経験、志向、能力などを十分に配慮して履修指導、研究指導を行います。

(5) 履修要件

次の基準により、30単位以上を履修するよう指導します。

科目区分	履修単位数	備考
共通科目	4単位以上	選択
専門支持科目	4単位以上	選択
専門科目	12単位以上	選択
特別研究	10単位	必修

(6) 修了要件

本研究科の修了要件は、2年以上在学し、所定の単位(30単位以上)を修得し、かつ必要な研究指導を受け修士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格することとしています。

ただし、在学期間については、優れた成績をあげた者については1年以上在学すれば足りるものとしています。

7 授業科目の概要

別 表

授業科目の名称		配当 年次	単位数		備考
			必修	選択	
共通 科目	保健医療学研究法	1		2	選択 4単位以上
	保健医療倫理学特論	1		2	
	医療科学特論	1		2	
	保健医療システム特論	1		2	
	医療組織経済学特論	1		2	

授業科目の名称			配当 年次	単位数		備考		
				必修	選択			
専 門 支 持 科 目	看護学研究法特論		1		2	選択 4単位以上		
	看護学理論特論		1		2			
	健康政策・関係法特論		1		2			
	原著講読特論		1		2			
	生体機能看護学特論		1		2			
	臨床動作解析学特論		1		2			
	発達障がい理学療法学特論		1		2			
	理学療法臨床推論特論		1		2			
	精神障がい作業療法学特論		1		2			
	身体障がい作業療法学特論		1		2			
	老年期障がい作業療法学特論		1		2			
	生活援助工学特論		1		2			
地域リハビリテーション学特論		1		2				
専 門 科 目	看 護 学 分 野	基礎・病態 看護学領域	看護病態機能学特論	1	2	選択 12単位以上		
			看護病態機能学特論演習	1～2	4			
			基礎看護学特論	1	2			
			基礎看護学特論演習	1～2	4			
			看護管理特論	1	2			
			看護管理特論演習	1～2	4			
	母 子 看 護 学 領 域	母子看護学特論	1	2				
		母子看護学特論演習	1～2	4				
		周産期看護学特論	1	2				
		周産期看護学特論演習	1～2	4				
	成 人 ・ 高 齢 者 看 護 学 領 域	成人・高齢者看護学特論	1	2				
		成人・高齢者看護学特論演習	1～2	4				
	精 神 看 護 学 領 域	精神看護学特論	1	2				
		精神看護学特論演習	1～2	4				
	地 域 看 護 学 領 域	地域保健行政看護学特論	1	2				
地域保健行政看護学特論演習		1～2	4					
家族・在宅看護学特論		1	2					
家族・在宅看護学特論演習		1～2	4					
看護学特別研究			1～2		10	看護学分野において選択必修		
理 学 療 法 学 分 野	療 基 法 学 領 域	基礎 理学	運動解析学特論	1	2	選択 12単位以上		
			運動解析学特論演習	1～2	4			
			運動生理学特論	1	2			
			運動生理学特論演習	1～2	4			
	療 法 学 領 域	臨床 理学	運動機能理学療法学特論	1	2			
			運動機能理学療法学特論演習	1～2	4			
			神経機能理学療法学特論	1	2			
			神経機能理学療法学特論演習	1～2	4			
			運動障がいリハビリテーション学特論	1	2			
			運動障がいリハビリテーション学特論演習	1～2	4			
	理学療法学特別研究			1～2			10	理学療法学分野において選択必修

授業科目の名称			配当 年次	単位数		備考	
				必修	選択		
専 門 科 目	療 法 学 領 域	臨床	神経障がいリハビリテーション学特論	1		2	選択 12単位以上
		床	神経障がいリハビリテーション学特論演習	1～2		4	
		学	作業活動解析学特論	1		2	
		作	作業活動解析学特論演習	1～2		4	
		業	内部障がいリハビリテーション学特論	1		2	
		領	内部障がいリハビリテーション学特論演習	1～2		4	
	療 法 学 分 野	発達	発達過程作業療法学特論	1		2	
		作	発達過程作業療法学特論演習	1～2		4	
		業	作業療育学特論	1		2	
		領	作業療育学特論演習	1～2		4	
作業療法学特別研究			1～2		10	作業療法学分野に おいて選択必修	

8 教育研究領域

現在、各分野において、修士論文の作成につながる教育研究領域を次のとおり構成しています。

分 野	領 域	主な授業科目
看 護 学 分 野	基 礎 ・ 病 態 看 護 学 領 域	看護病態機能学
		基礎看護学
		看護管理
	母 子 看 護 学 領 域	母子看護学
		周産期看護学
	成 人 ・ 高 齢 者 看 護 学 領 域	成人・高齢者看護学
	地 域 看 護 学 領 域	地域保健行政看護学
家族・在宅看護学		
理 学 療 法 学 分 野	基 礎 理 学 療 法 学 領 域	運動解析学
		運動生理学
	臨 床 理 学 療 法 学 領 域	運動機能理学療法学
		神経機能理学療法学
		運動障がいリハビリテーション学
作 業 療 法 学 分 野	臨 床 作 業 療 法 学 領 域	神経障がいリハビリテーション学
		作業活動解析学
		内部障がいリハビリテーション学
	発 達 作 業 療 法 学 領 域	発達過程作業療法学
		作業療育学

指導教員及び研究テーマ

(看護学分野)

領域	氏名	研究分野の概要	主な研究指導テーマ
基礎・病態看護学領域	前田邦彦教授	生活習慣病や悪性腫瘍の罹患率が高い地域である本県において、これらに対する看護・保健衛生のありかたを確立する基盤として、代表的な疾患を対象にその罹患状況、地域分布、病理学的特性、治療効果などを病理組織学的、病理疫学的手法を用いて解析し、それらの地域特性を検討する。 生体における免疫反応の場と考えられているリンパ濾胞における分子あるいは細胞の反応を主として分子組織化学的・免疫組織化学的手法を用いて解析する。 悪性リンパ腫を含む網内系増殖疾患の臨床病理学的特性を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 山形県内における生活習慣病の地域特性に関する病理学的検討 山形県における悪性腫瘍の病理学的特性についての解析 悪性腫瘍の新しい治療（分子標的療法）についての調査・分析 樹状細胞の病理学的意義についての組織学的検討 リンパ濾胞における細胞相互作用の細胞・組織学的解析 網内系増殖症の臨床病理学的解析
	豊嶋三枝子教授	看護学教育（看護学教育方法、看護継続教育、看護学生の認識）、看護管理、看護理論などに関する研究を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 看護学教育方法に関する研究（看護学生の認識、実習教育、演習方法など） 新人看護師教育に関する研究 看護職者の人材活用（主に定年後看護職者、男性看護師）に関する研究 看護職者のキャリア開発に関する研究 看護理論の実証的研究
母子看護学領域	遠藤恵子教授	家庭、社会環境の変化や医療の進歩に伴う女性および母子の健康の維持促進に関する問題や援助方法について研究する。	<ul style="list-style-type: none"> 不妊カップルに関する心理社会的課題や援助に関する研究 思春期の性的な健康問題に関する研究 ライフサイクル全般をととした女性の健康に関する研究 地域における母子の健康支援に関する研究
成人・高齢者看護学領域	小澤芳子教授	高齢者スピリチュアリティや生活を基盤とした高齢者のQOLを高める看護介入、認知症の人および家族介護者への支援に関する研究を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者のスピリチュアリティおよび生活に関する研究 高齢者の生活を支える家族への支援に関する研究 強みを活かした支援方法に関する研究 認知症の人および家族への支援に関する研究 高齢者のリスクマネージメントに関する研究 高齢者の終末期に関する研究
	遠藤和子教授	慢性疾患とともにある人々の生活の再構築を支援する看護援助、および、食看護学に関する研究を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 生活の再構築支援のための看護モデル、援助プログラムの開発 糖尿病とともにある人々への看護援助 食に関する看護援助（食事療法、栄養不良、摂食・嚥下障害、ジェンダー・文化的検討） 成人期にある人々の健康教育・学習に関する研究 自らの終末を迎える準備に関する研究
地域看護学領域	菅原京子教授	行政機関における地域看護活動（公衆衛生看護活動）について、住民の保健ニーズを反映するヘルスケアシステム構築の観点から研究する。	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな健康レベルにある住民の保健ニーズに関する研究 保健師の地区活動における地域看護診断に関する研究 アカウンタビリティを果たす活動評価に関する研究 地方分権下における保健福祉サービスの提供体制と住民参加に関する研究 保健師に関する法制度史研究

(理学療法学分野)

領域	氏名	研究分野の概要	主な研究指導テーマ
基礎理学療法学領域	真壁 寿教授	非線形解析手法など種々な解析手法を用いて、脳・神経系疾患や高齢者の機能障がい解析し、効果的な理学療法や評価法を探求する。	<ul style="list-style-type: none"> ・脳・神経系疾患の理学療法と評価法に関する研究 ・歩行および身体の揺れをはじめとする生体の非線形ダイナミクスに関する研究 ・筋電図を用いた筋収縮特性に関する研究 ・地域高齢者の運動機能と介護予防に関する研究
	内田勝雄教授	呼吸、循環および代謝機能を中心に運動生理学の研究を行う。 酸素摂取量、心拍出量などを非侵襲的に簡便に測定する方法の開発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・運動時の呼吸、循環および代謝機能の相互作用に関する研究 ・再呼吸法による循環系パラメータの非侵襲的測定に関する研究 ・再呼吸法による肺胞気CO₂分圧の推定に関する研究 ・¹³C安定同位体による運動時の糖および脂質代謝の解析に関する研究 ・運動開始時および終了時のCO₂排出量変化に関する研究 ・パルスオキシメータを用いた混合静脈血酸素含量の推定に関する研究
臨床理学療法学領域	伊橋光二教授	運動機能障がいを筋骨格系の障がいだけでなく、多面的・包括的にとらえて問題解決する方策を教授する。	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床評価指標の開発・定量化に関する研究 ・運動障がいと呼吸障がいの関係についての研究 ・電気刺激療法を用いた運動障がい治療の研究 ・運動障がいに対する徒手治療の効果に関する研究
	神先秀人教授	理学療法に関連する種々の動作や運動障がいを対象にした運動学および力学的研究を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・下肢関節疾患の理学療法に関する研究 ・歩行をはじめとする動作の運動学、運動力学的分析 ・高齢者の介護予防、転倒予防に関する研究 ・下肢装具や足底板の効果に関する研究
	清重佳郎教授	運動障がいの原因の探求とリハビリテーションによる障がいの新しい解決法を研究する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学生実習用献体を用いた解剖学的変異と病態の研究 ・AGE。(後期糖化反応性生成物)による運動器障がいの研究 ・上肢機能障がいの臨床的研究

(作業療法学分野)

領域	氏名	研究分野の概要	主な研究指導テーマ
臨床作業療法学領域	藤井浩美教授	個体、作業課題、環境の三側面から日常生活活動を解析する。そして、生活モデルを構築し、作業療法の実効性を検証する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒト上肢の機能解剖学・神経生理学的研究 ・片麻痺の上肢機能に関する研究 ・眼と手の協応に関する研究 ・日常生活の作業活動解析に関する研究
	平山和美教授	神経心理学(高次脳機能障がい学)一般。特に、局所脳損傷や変性疾患による視覚認知障がい、視覚と行為の協調の障がいの機序やリハビリテーションの研究を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・神経心理学(高次脳機能障がい学)的研究一般。特に、視覚認知障がい、視覚と行為の協調の障がい、同名性視野欠損に伴う探索や読みの障がいに関する研究
	佐藤寿晃教授	運動器疾患や高齢者を対象に、日常生活活動を様々な測定手法を用いて運動機能を解析する。その解析結果を基に作業療法の実効性を検証する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒト上肢運動機構における機能解剖学および神経生理学的研究 ・運動器疾患における運動機能評価および治療効果に関する研究 ・高齢者の介護予防に関する研究
	八巻通安教授	心臓機能障がい、呼吸機能障がい患者の機能評価について運動生理学的、電気生理学的手法を用いて検討を行い、発生しうる致死的事象を予知し、その予防策を探求する。また心拍変動から自律神経活動を評価することで、障がい患者の生活の質の改善を図る方策を研究する。	<ul style="list-style-type: none"> ・致死性循環器疾患の予知・予防に関する研究 ・心肺機能の運動生理学的評価に関する研究 ・心肺機能に及ぼす自律神経活動の評価に関する研究
発達作業療法学領域	佐竹真次教授	応用行動分析学と単一症例実験計画法を応用して、療育的、教育的作業療法モデルを構築し、その実効性を検証する。	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がい児の情動理解、情動表出スキル、社会的スキル、コミュニケーション機能の形成 ・学習障がい児の読字・書字促進プログラムの研究 ・発達障がい者のパーソナルスペース認知の研究 ・教育現場への作業療法的コンサルテーションの研究

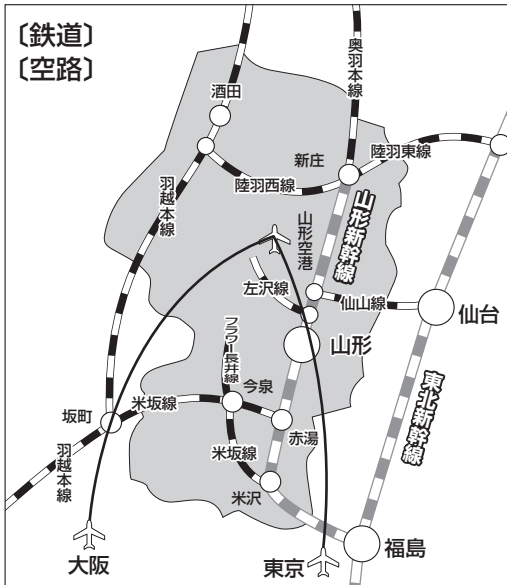
大学（試験会場）案内図

公立大学法人

山形県立保健医療大学

〒990-2212 山形県山形市上柳260番地

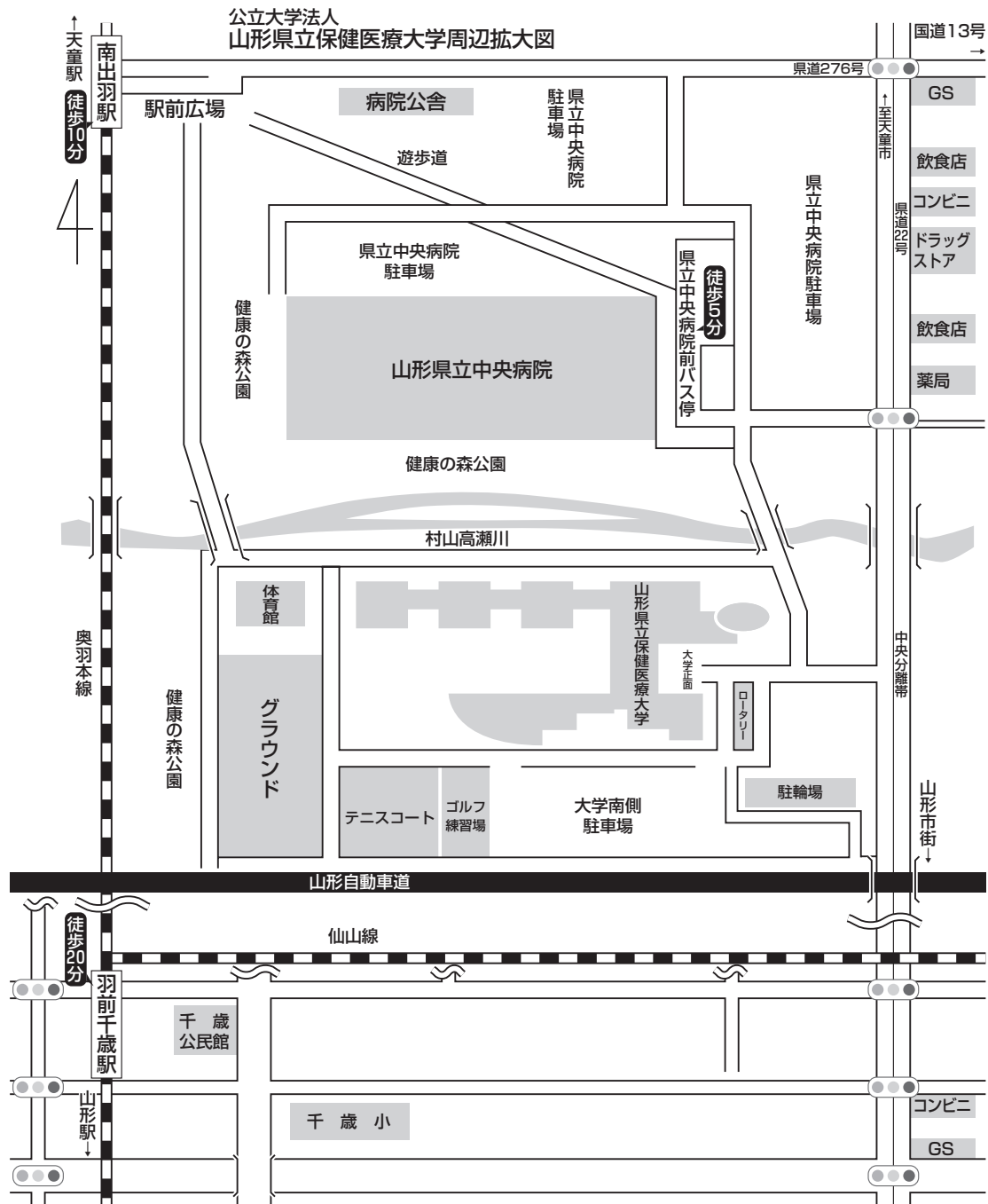
TEL 023-686-6688



- J R 山形駅から
 - ・タクシー 約20分
 - ・バス
 - 「県立中央病院」行(約30分)、
 - 終点下車 徒歩 約5分
- J R 羽前千歳駅から
 - ・徒歩 約20分
- J R 南出羽駅から
 - ・徒歩 約10分
- 山形空港から
 - ・タクシー 約40分

ご 注 意

試験会場及びその周辺において、合格電報等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係なく、トラブル等が生じてても責任を負えないので注意してください。



入試に関する問い合わせ

入試についての問い合わせは、下記あてに行ってください。

公立大学法人

山形県立保健医療大学 教務学生課

T E L 023-686-6688

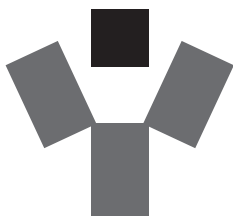
F A X 023-686-6674

E-mail kyogaku@yachts.ac.jp

〒990-2212 山形県山形市上柳260番地

※ kyogaku@yachts.ac.jpは受信専用のアドレスです。

ご質問に関しては、担当者のアドレス（〇〇〇@yachts.ac.jp）で回答いたしますので、携帯電話の着信設定等ご注意くださいようお願いいたします。



Yamagata Prefectural
University of
Health Sciences

公立大学法人
山形県立保健医療大学 大学院

〒990-2212 山形県山形市上柳260番地

Tel 023-686-6688

Fax 023-686-6674

URL <http://www.yachts.ac.jp/>

携帯サイト <http://daigakujc.jp/yachts/>

QRコード

※対応する携帯電話で
読み取れます。

